

第 30 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。
問 1

建設業における原価計算の目的には、対内的な目的と対外的な目的がある。対内的な目的には、目標利益を現実にするための予算編成や個別工事の予算目標達成の進捗の管理を行い、内部的な経営目標を達成させることである。☆☆このように、対外的な目的は、適正な財務諸表や受注関係書類、および官公庁提出書類など、原価計算に必要とする事項に関する意思決定や、経営基本計画を設定するなどの長期的な意思決定のためには、適正な原価を提示することである。☆一方、対外的な目的には、適正な工事原価を算定することがある。☆

問 2

V E とは価値工学と手法で言われる。☆☆原価企画の効果を顧客に原価低減の必要な各チームメンバーの策定などを行う。☆

価値工学と手法で言われる。☆☆原価企画の効果を顧客に原価低減の必要な各チームメンバーの策定などを行う。☆

予想採点基準

☆の前の文の内容が正解で加点

☆…2点×10=20点

〔第2問〕

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5
A	A	B	B	A

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

予想採点基準

☆…2点×5=10点

〔第3問〕

問1

補助部門費配賦表

(単位：円)

項目	施工部門		補助部門		
	第1部門	第2部門	(修繕部門)	(運搬部門)	(管理部門)
部門費合計	4,720,000	4,500,000	798,800	1,600,000	600,000
補助部門費					
(管理部門費)	☆ 270,000	210,000	60,000	60,000	
(運搬部門費)	996,000	498,000	☆ 166,000	1,660,000	
(修繕部門費)	563,640	☆ 461,160	1,024,800		
合計	6,549,640	5,669,160			

問2

〔固定費〕

補助部門費配賦表

(単位：円)

項目	施工部門		補助部門		
	第1部門	第2部門	(運搬部門)	(修繕部門)	(管理部門)
部門費合計	3,080,000	2,580,000	☆ 376,000	438,800	400,000
補助部門費					
(管理部門費)	200,000	120,000	40,000	☆ 40,000	
(修繕部門費)	☆ 253,600	162,400	62,800	478,800	
(運搬部門費)	266,000	☆ 212,800	478,800		
合計	3,799,600	3,075,200			

〔変動費〕

補助部門費配賦表

(単位：円)

項目	施工部門		補助部門		
	第1部門	第2部門	(修繕部門)	(運搬部門)	(管理部門)
部門費合計	1,640,000	1,920,000	360,000	1,224,000	200,000
補助部門費					
(管理部門費)	90,000	70,000	☆ 20,000	20,000	
(運搬部門費)	746,400	☆ 373,200	124,400	1,244,000	
(修繕部門費)	☆ 277,420	226,980	504,400		
合計	2,753,820	2,590,180			

予想採点基準

☆…2点×10=20点

〔第4問〕

- 問1 ☆ 記号(ア～カ)
- 問2 ☆ 記号(ア～キ)
- 問3 円 記号(XまたはY) ☆☆☆★
- 問4 円 記号(同上) ☆☆☆★

予想採点基準

☆…2点×8=16点
★…1点×2=2点
合計 18点

〔第5問〕

問1

工事原価計算表
20X2年11月

(単位：円)

工事番号	506	507	508	509	合計
月初未成工事原価	364,780	☆111,180	—	—	475,960
当月発生工事原価					
1. 材料費					
(1) A材料費	—	480,000	370,540	☆225,000	1,075,540
(2) B材料費	☆76,125	152,250	109,620	85,260	423,255
[材料費計]	76,125	632,250	480,160	310,260	1,498,795
2. 労務費	40,710	129,210	☆95,580	63,720	329,220
3. 外注費	153,340	☆216,780	180,660	150,230	701,010
4. 経費					
(1) 直接経費	17,030	59,900	48,770	25,110	150,810
(2) 重機械運搬費	25,090	81,060	☆55,970	38,600	200,720
(3) その他経費	☆70,090	114,520	69,220	44,880	298,710
[経費計]	112,210	255,480	173,960	☆108,590	650,240
当月完成工事原価	☆747,165	1,344,900	—	—	2,092,065
月末未成工事原価	—	—	930,360	☆632,800	1,563,160

問2

¥ ☆★

問3

重機械部門費配賦差異 ¥ ☆ 記号(AまたはB) ★

予算差異 ¥ ☆ 記号(同上) ★

操業度差異 ¥ ☆ 記号(同上) ★

予想採点基準

☆…2点×14=28点
★…1点×4=4点
合計 32点

2022年9月(第31回)試験向け

建設業経理士 WEB 講座

合格に必要な十分な知識・テクニックを実力派講師(全員、1級建設業経理士)から効率的に学べるカリキュラムをご用意しています。

忙しい方でも、近くに学校などが無い方でも、オンラインで気軽に安心して学べるネットスクールのWEB講座で、2022年9月に実施される第31回建設業経理士試験の合格を目指しましょう!

ネットスクールの「建設業経理士WEB講座」の魅力!

分かりやすい講義とサポートで初めての方でも安心

実力派講師の「理解できる」講義で、合格に必要な知識をお届け。オンデマンド配信なので、何度でも見直して復習も可能。また、受講生専用SNS「学び舎」やメール・電話でご質問もできます。

理論問題の添削サービスで、記述問題対策もバッチリ!

1級の学習で皆さんが最も不安に感じる第1問の記述問題は、とにかく書いて誰かに読んでもらうのが効果的な対策です。ネットスクールでは皆さんが書いた記述問題の解答を添削し、アドバイスを行います。

スマホ・タブレットにも対応

ネットスクールのWEB講座は、スマホやタブレットでも受講可能。それに合わせて、30分程度で受講できるよう講義を組み立てています。これにより、「自宅で学習した講義を翌日、外出先で復習する」といった学習スタイルも可能になりました。また、スマートフォンやタブレットの端末では、講義をダウンロードすることも可能なので、通信料を気にせずに外出先で学習することも可能です。



※この画像はイメージです。

■標準コースと料金のご案内■ ※この他、基本講義を除いた「直前対策コース」も試験直前期に開講予定です。

級・科目	基本講義	直前 答練	過去問 ゼミ	予想・ 質問会	とおる 模試	担当講師	受講料金 (教材・消費税10%込)※	
2級	13回		3回	1回	1回	桑原知之	¥31,800	
1級	財務諸表	12回	3回	5回	1回	藤本拓也	¥45,500	3科目セット ¥110,800
	財務分析	8回	3回	5回	1回		¥40,300	
	原価計算	8回	3回	5回	1回		¥40,300	

- ・上記料金は、初めてネットスクールのWEB講座をお申込頂く方で教材も一緒にお申込頂く場合の料金です。最新版の教材を既にお持ちの方には「教材別」のコース、過去にネットスクールのWEB講座をお申込頂いた方には「受講生割引」や「再受講割引」を設定しております。詳しくはネットスクールホームページにてご確認ください。お問合わせ下さい。
- ・お申込みにあたっては、ホームページにて視聴環境を必ずご確認ください。

★建設業経理士 WEB 講座 無料説明会のお知らせ★

2022年9月試験に向けた建設業経理士WEB講座の特長や学習のポイントなどを、建設業経理士WEB講座担当の桑原先生と藤本先生がYouTube Liveによる生配信で説明します。

YouTubeのアカウントがあれば、チャットを使って相談することも可能です。ぜひご覧ください。

※生配信終了後も録画された内容をご視聴頂くことが可能ですが、その際、チャット機能は使用できませんので、ご了承ください。

3月22日(火) 19:30~

詳細はネットスクールホームページ、またはネットスクール公式YouTubeチャンネルへ。